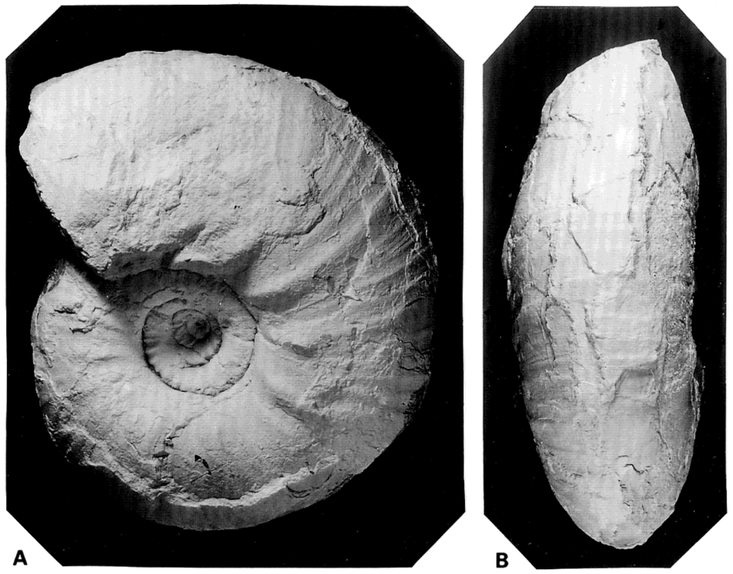
アンモナイト・イヤー企画
2025年ロビー展シリーズ 今月のアンモナイト

# July 秘蔵・嶋貫コレクション公開！

**嶋貫年男**（しまぬき としお）氏（故人）は、岩見沢市在住の**アマチュア化石コレクター**で、長年にわたり、北海道各地で、特にアンモナイト化石の採集を行っていました。

嶋貫氏は、趣味として化石を集めるだけではなく、自身が採集した化石を研究者に提供し、学術の発展に大いに貢献しました。その功績を称えて、アンモナイト「**レウェシセラス・シマヌキィ**」と二枚貝「**ミチロイデス・シマヌキィ**」という2種の学名に、嶋貫氏の名前が与えられています。

生前、嶋貫氏は、自身の化石コレクションのほとんどを、国立科学博物館（東京）に提供しました。しかし、一部の化石は嶋貫氏の手元に残され、嶋貫氏が亡くなられたあとは、奥様が保管されていました。2022年冬、奥様から、その化石を当館にご寄贈いただきました。嶋貫氏が最後までお手元に大切に残していた秘蔵コレクションは、氏の地元であり化石の産地でもある、ここ北海道に収蔵されることになったのです。




嶋貫氏の名前が与えられたアンモナイト「レウェシセラス・シマヌキィ」。むかわ町穂別産。北海道にある白亜紀の地層としては比較的古い、前期セノマニアン期（約１億年前）の地層から発見されたもの。原標本は九州大学所蔵。Matsumoto (2003)より引用。

嶋貫氏の名前が与えられた二枚貝「ミチロイデス・シマヌキィ」。道北・遠別町にある、白亜紀の中でも終わりが近づいていた、カンパニアン期の後半（約7500万年前）の地層から発見されたもの。原標本は九州大学所蔵。
Matsumoto and Noda (1985)より引用。